

IV 研究の実際

1 第4学年の実践

(1) 単元構想

単元名	今、何時 (Let,s try2 Unit.4)		
単元の目標	(1) 時刻や日課の言い方ができる。 (2) 相手や自分の日課の時間について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (3) 相手や自分の日課について工夫して伝え合おうとする。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	時刻や日課の言い方を理解している。	相手や自分の日課の時間について尋ね伝え合っている。	対処表現を使って、相手や自分の日課について工夫して尋ね伝え合おうとしている。
単元終了時の児童の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)			
相手と応答しながら日課や時刻について積極的に会話しようとする児童			
単元を通した学習課題 (単元の中心的な学習課題)	本単元で働かせる見方・考え方		
寝る時刻について会話して自他の日課について知り合おう。	繰り返して尋ねたり相槌を入れたりしながら相手とよりよい会話をしようとする		
指導計画と評価計画 (4時間取扱い、本時4/4)			
時	学習活動	評価の観点★は「具体の評価規準」	
2	○単元のゴールを知る。 ○時刻を尋ねたり伝えたりする単語や表現を知る。 What time is it? Its 11: 50.red	〈知識・技能〉(行動観察) ・ 11,12,20,30,40,50の数字が言える。 ・ 時刻の言い方や尋ね方が言える。 ・ リズムや発音に気付いている。	
3	○時刻を表す表現を使って会話を練習する。 ①寝る時刻を尋ねたり伝えたりする。 What time do you go to bed? I go to bed at 12.	★〈知識・技能〉(行動観察) 寝る時刻を表す言い方を理解している。 ★〈思考・判断・表現〉(行動観察) 寝る時刻について対処表現を使って工夫しながら会話している。(本時)	
2	○時刻を表す表現を使って会話を練習する。 ①起床時刻を尋ねたり伝えたりする。 What time do you get up ? I get up at 7.AM	★〈主体的に学習に取り組む態度〉 (行動観察・ワークシート) 起床時刻について対処表現を使って工夫しながら会話している。	

(2) 研究の視点

【視点1】 興味・関心を高める必然性のある場面設定

- コミュニケーション活動では、現在の時刻を尋ね合うだけでは会話への興味がしぼむので、実際の児童の日課を尋ね合うことで、他者認識や、受け答えに対処表現を使って会話しようとする意欲を高めた。
- コミュニケーションのポイント（スマイル、アイコンタクト、クリアボイス）の絵カードを活用して、会話練習の中で反省会をしながら、できてないポイントに気を付けてさらに練習しようとする意欲を高めた。

【視点2】 一人一人が英語に慣れ親しむための工夫 及び低・中学年の系統化

- 1人1人が発語できるよう、班や列を作って練習メンバーを変えながら、交互に繰り返し練習して慣れ親しませた。
- 対処表現を増やして練習に取り入れることで、少しでも 長く会話を続けたり、スムーズな会話ができるようになる楽しさを体感できるようにした。

本単元で使った対処表現	練習形態
(今回提示した表現) ・ Thank you. ・ See you. Oh good.	・ ペア ・ 班
(以前提示した表現) ・ Me too. Really. Too late.	・ 列 ・ 全体
(今回児童が考えて使った表現) ・ Healthy. Oh no.	

- 難しい表現も、ALTの発音を見せ、イントネーションやアクセント、リダクション等のリズムに気付き、意識して発音すると言い易くなることを体感できるようにした。
- 支援を要する児童には、友達と一緒に練習して、自身を持って会話できるようにした。

【視点3】 他教科との関連

- 国語科との関連

国語科「ごんぎつね」の単元末の学習では、登場人物の気持ちを深く読み取った感想を発表した。英語科でのコミュニケーション活動が他の学習の考える力や意見を交換して深め合う学習に繋がった。

【視点4】 評価の工夫

- 中間評価では、積極的に発表しようとするペアが会話を全体の前で見せ、周りの児童は、会話のポイントや対処表現の工夫などの気づきを伝え合うようにして、発表したペアの良さや課題を全員で共有して、2回目の練習に生かせるようにした。
- ふり返りカードには、感想欄を設け、学習を振り返って、できた事や気付いたことや友達の良さやまだできていないことを振り返って次時に生かせるようにした。

(3) 本時の学習

①目標 寝る時刻を尋ね合って、自他の日課を尋ね伝え合い、工夫してコミュニケーションを図ろうとする。

②展開

	学習活動	教師の支援・評価
た し か に 出 会 う	<p>1 Greeting あいさつをし、「Hello song」を歌う。</p> <p>2 Warm up 復習で口慣らしをする。</p>  <p>What time do you go to bed? 11, 12.</p> <p>3 Today's Goal 本時のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めあて】寝る時刻を尋ね合って、何時に一番多く寝ているかを調べよう。</p> </div>	<p>○楽しい雰囲気をつくった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【視点2】 本時で使う表現を復習して慣れ親しませた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【視点1】 児童に予想させ、その理由を尋ねて、調べようとする意欲を高めた。</p> </div>
か ん が え や っ て み る	<p>4 デモンストレーションを見て会話の方法を知る。</p>  <p>Hello. What time do you go to bed? I go to bed at~. Oh good. Thank you. See you.</p>  <p>Oh no. Healthy.</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【視点2】 デモで使った表現を表記して視覚化して、児童が混乱しないようにした。 T 対 C 全員で役割を交代して練習し、各自が言えるように、ペア練習を行った。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【視点4】 上手なペア練習の例を見せ、会話のポイントを確認してから再度練習した。</p> </div>
き づ き	<p>5 Activity 寝る時刻を尋ね合う。</p> <p>①活動の進め方を確認し、友達の就寝時刻が分かったらカードにチェックを入れ、最後に班で集計する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【視点1】 調査は個人で分担するが、班毎に集計して最後に結果が分かるので、協力して調べようとした。</p> </div>

親しみ伝え合う

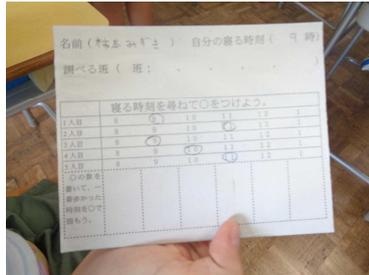


対処表現を使って会話していた。

(reaction)

Oh no. That's good.
too late. Me too.
Not healthy.

②班ごとに集計して
結果を知り、予想と
比べる。



(reaction)

Why?
Me too.
Too late. Not healthy.
Go to bed early.

【視点2】

どうしても言えないときは、
What time?や数字だけで会話し
ていいことを伝えた。

【視点4】

早く終わった児童は、班の中で
よかったところや課題を出し合
って、自己評価をして感想発表
に備えた。

【具体の評価規準】

★〈話すこと〉(思考、判断、表現)
(行動観察・ワークシート)

What time~や数字を使って互いの日
課を伝え合っている。

対処表現などを使いながら工夫して
伝え合おうとしている。

【視点3】

就寝時刻が遅い児童には理由
を尋ねて、同感したり、「遅い」
「健康的でない」「早く寝なさい。」
と英語で返す児童を紹介した。

これまでを振り返る

6 Looking back 感想を発表する。



遅く寝る友達の理由が
自分と同じだった。

2回目もどうしてもシ
ートを見てしまった。

7 Ending あいさつをする。

○会話のポイントや自分や友達
のくらしについて感想を述べた。

【視点4】

2回に分けて調査した。調査
記入用のシートを見てしまい相
手を見て会話しなかったとの反
省を受けて、2回目はその改善
に努めたが、できないときは次
の課題とした。